特集

識字の先に、未来を拓く

～「世界寺子屋運動」30年～

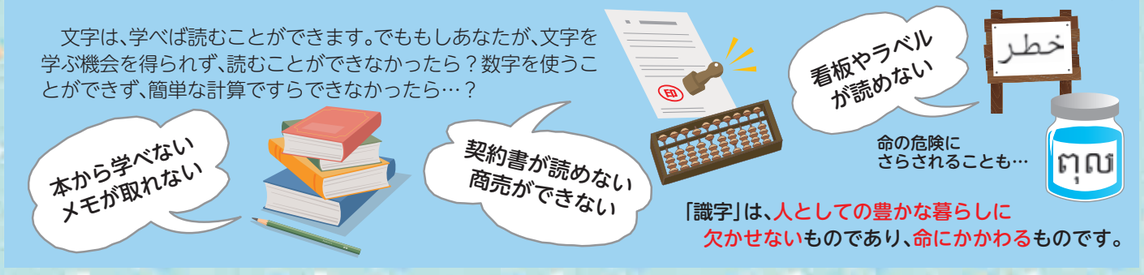
資料提供，協力：公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟

クイズ 何が書いてあるでしょう？

① افغانستان　② កម្ពុជា　③ नेपाल　④ မြန်မာ

クイズの答えはページの下

文字は、学べば読むことができます。でももしあなたが、文字を学ぶ機会を得られず、読むことができなかったら？数字を使うことができず、簡単な計算ですらできなかったら…？



「識字」は、人としての豊かな暮らしに欠かせないものであり、命にかかわるものです。

世界には、文字の読み書きができない大人（15歳以上）がおよそ7億7,300万人、また、学校に通うことのできない子ども（6～14歳）が約1億2,100万人いると言われています。*
（*UNESCO Institute for Statistics）

世界の大人のおよそ**6人に1人**は「非識字者」です

国連は1990年を「国際識字年」と定め、また1991年からの10年間を「国際識字の10年」として世界の識字率を向上させ、誰もが平和な社会の構築に貢献できるようになることを世界に呼びかけました。日本国内においてはこの「国際識字年」をきっかけに、前年の1989年から(公社)日本ユネスコ協会連盟による「世界寺子屋運動」が始まりました。

この30年間で、「世界寺子屋運動」では世界44か国と1地域で534軒の「寺子屋」を建設し、131万人以上に学びの機会を届けてきました。

【世界寺子屋運動】支援国での主な活動

●識字、基礎教育の実施
文字の読み書き、計算だけでなく、保健衛生や生活に役立つ知識を提供します。

●復学支援（小学校クラス）
さまざまな事情で小学校を中途退学してしまった子どもが復学できるチャンスを提供します。

●職業訓練
「寺子屋」で学んだ知識を生活に生かすため、収入向上につながる技術を提供します。

●教員、寺子屋運営者の育成
地域での教育活動継続のための人材を育成する研修などを行います。

▲教員の育成のための研修（カンボジア）

▲収入向上のための職業訓練（アフガニスタン）

私たち（公財）名古屋国際センターはこの運動の趣旨に賛同し、1990年、「"世界寺子屋運動"名古屋実行委員会」を立ち上げ、同運動を支援してきました。以来30年、実行委員会の事務局として、地域のみなさまのご協力を得て「書き損じはがきキャンペーン」（詳しくは裏表紙をご覧ください）を展開しています。この30年間でみなさまから名古屋実行委員会へお寄せいただいた「書き損じはがき」はおよそ460万枚。これまでに行った支援は１億6千万円を超えています。これは「世界寺子屋運動」への継続支援年数、累積支援金額ともに全国１位を誇るものです。

みなさまからの温かいご支援に、改めて感謝申し上げます。

30年間の実績

書き損じはがき回収累計枚数：4,596,073枚
総 支 援 額：168,441,500円
主な支援先：アフガニスタン、インド、カンボジア、中国、ネパール、バングラデシュ、ミャンマーなどの11か国22団体
主な協力者：個人、企業、市民団体、学校など

クイズの答え：①アフガニスタン「アフガニスタン」②カンボジア「カンボジア」③ネパール「ネパール」④ミャンマー「ミャンマー」

“世界寺子屋運動”名古屋実行委員会 書き損じはがきキャンペーン マスコットキャラクター「はがきちゃん」

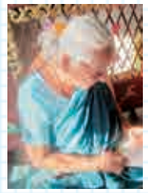
“世界寺子屋運動”名古屋実行委員会では、毎年イベント会場でのブース出展やパネル・ポスター掲示など、「書き損じはがきキャンペーン」の広報を行っています。また、「世界寺子屋運動」をきっかけに世界の教育問題についても考えていただけるよう、講演・講座などを実施しています。

支援国から「ありがとう」 学習者の声

アフガニスタン
ファリダさん 45歳

以前暮らしていたところでは、内戦のため学校に通うことができませんでした。読み書きや計算がわからなかったので自分一人で市場に買い物に行くこともできず、「自分は何もわからないし、価値がない人間だ」と考えることもありました。でも「寺子屋」の識字クラスで学んだことで、市場での買い物も自信をもってできるようになったし、生きる希望がもてるようにもなりました。算数や、ダリー語の綴りなどは難しいですが、「寺子屋」の先生は一生懸命教えてくれます。もし可能なら、将来は識字の先生になって、前の自分のように読み書きができない人に教えることができればと思います。

皆さんのご支援、本当にありがとうございます。



ネパール
ロク マヤ タルーさん 92歳

識字の先生は年齢の高い学習者でも尊敬をしてくれるので、毎日クラスに通うことができています。授業で学ぶ女性の健康や公衆衛生などはとても興味深く、家庭や地域での生活でも役立ちます。学び始めてから、自宅で宗教に関する本を読むようにもなりました。授業で習う算数は難しいですが、クラスに参加してから多くのことを学べて本当に嬉しいです。

カンボジア
チョッ プロムさん 35歳

貧しい家庭の長女だったので、小学校2年生で退学し、ずっと家事や農作業の手伝いをしていました。8年前、「寺子屋」の識字クラスで読み書き計算ができるようになり、その後、服の仕立てを習い、現在は家で仕立屋をしています。注文を取るのも、採寸して服を作るのも、お金を管理するのも、「寺子屋」で学ばなければできなかったことです。

ご支援いただいた皆さんには、心から感謝しています。

●学習者からお礼のメッセージ映像が届きました！
（公社）日本ユネスコ協会連盟　ウェブサイト

復学支援クラス　識字クラス

ミャンマー
ニェンニェンイーさん 16歳

中学校に入学したものの、2年前から学校に行っていませんでした。雨期には稲作、その他の時期は牛の世話や家事をしています。家族みんなで働かないと生活は苦しいのです。「寺子屋」では、読み書きだけでなく、感染症や人身売買の問題など、たくさんのことが学べて本当に良かったです。

将来は、ミャンマー伝統音楽や伝統舞踊の学校で勉強するのが夢です。

こちらもCHECK!

カンボジア、ネパールの現地の様子や学習者の声を動画でご覧いただけます。
（公社）日本ユネスコ協会連盟 作成「世界寺子屋運動」PR動画 / YouTube

カンボジア（人物編）　カンボジア（地域編）　ネパール（人物編）

教育を受けることを権利として保障する条約

教育を受けることを権利として保障する条約

教育を受けることを権利として保障する条約